

Wind of Jomon 縄文の風

国宝土偶「縄文の女神」が生まれた、縄文時代や縄文文化などをシリーズで紹介していきます。



縄文時代の風景「創作」
(うきたむ風土記の丘考古博物館)



押出遺跡(高島町)のイメージ
(うきたむ風土記の丘考古博物館蔵)

【縄文時代のイメージ】

縄文時代は比較的温暖な気候で、植物食を中心に豊かで安定した定住生活を送っていたと思われます。これまでの縄文時代は、貧しい小さな集団が狩りなどをしながら、その日暮らしの生活を送っていたというイメージが強調されてきたように思われますが、鹿児島県上野原遺跡や青森県三内丸山遺跡の調査により、約9,000年以上前という早い時代から巨大な村がつくられていたことや、北海道、中部、北陸地方まで広い交易圏を形成した社会があったことなどが明らかになっています。

縄文時代の始まりは約12,000年前といわれています。縄文人は、繊維が強く、毒やアクのある植物や木の実も、土器を発明して煮沸することによって解決したといわれており、大型動物から植物中心へと食生活の変化に伴って集落がつくられ定住生活が始まりました。

縄文Q&A?

Q. 言葉はあった?

A. 大きな建物を建てたり、巨大な石を動かしたりしているので、協力して生活するために言葉はあったようです。ただ、どのような言葉を話していたかは分かりません。



「今月の縄文の女神」

4月22日(日)、山形県立博物館で国宝「縄文の女神」展示解説会が行われ、めがみちゃんも出演しました。これは、「縄文の女神」の魅力を感じてもらうために企画されています。

次回の開催

- ▼日時 / 6月10日(日)
- ▼場所 / 山形県立博物館
- ▼参加費 / 無料
- ※入館料
- 成人 300円 学生 150円
- ▼問い合わせ /
- 山形県立博物館
- ☎ 023(645)1111

～5月の主な行事予定～

- 5日 春季消防演習(本町通り・アユパーク)
- 27日 小学校運動会(舟形小学校)
- 30日 町教育講演会(中央公民館)

みなさんお花見はされましたか。今年は一気に暖かくなり、つぼみだった桜もすぐに満開となりました。やつと春が来たなと感じます。私も新年度を迎え、昨年できなかったことや、新たなことにも挑戦していけたらと思います。(なお)

P.S

あとがき
postscript

